

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
		全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4758 旧上高井郡役所管理事業												
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課												
施 策	14011800 生涯学習の機会充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費											
	事業	010000 旧上高井郡役所管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
歴史的建造物として保存しながら、多くの市民の方に親しまれる施設となるよう、適切な維持管理を行う。						歴史的建造物である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、文書館や古い映画ポスターの公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	10,000	12,000	16,000	16,000	16,000	
	実績						
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成29年度15,952人、平成30年18,886人、2019年度 17,368人、2020年度 9,260人						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		8,411	9,500
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	881	900
一般財源	7,530	8,600	
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	3,149.0	3,149.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,149.0	3,149.0
市民一人当たりの経費	0.2	0.2	
総額	11,560.0	12,649.0	

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,670	光熱水費809、修繕費492 等
12節 委託費	3,731	宿日直業務委託3,631等
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,010	嘱託職員報酬1,918等

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,940	光熱水費1,049、修繕費500 等
12節 委託費	4,437	宿日直業務委託4,337 他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,123	会計年度任用職員報酬2,013他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の交流施設として活用しながら、歴史的建造物としての適切な維持管理と活用を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	社会教育関係団体をはじめ多くの市民・団体等が利用している。併せて須崎市文書館の事務室等や映画ポスター等の展示施設としての活用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	シルバー人材センターへの日直業務や除草作業の委託により効率的な施設管理に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍のなか、臨時休館や利用者数の制限などにより利用者数が減少しているが、休館に伴うシルバー人材センターへの日直業務委託の業務量の削減など、効率的な施設管理に務めた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
公共施設等総合管理計画個別計画に基づき、使用者の安全を第一に考えながら、快適な施設となるよう維持管理に努める。また、今後の管理のあり方について、文化スポーツ課（文書館）と検討を進める。	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
市民の貴重な財産としての文書を保存活用する施設として、管理方法等について検討する	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	